

平成30年度第1回青梅市図書館運営協議会会議録

平成30年7月26日(木) 午後6時～

中央図書館多目的室

○ 委嘱状の交付

渡辺教育部長より新委員に対し委嘱状の交付

1 あいさつ

教育部長

会長

2 報告事項

(1) 指定管理者による図書館の管理運営について

(指定管理者) [資料1にもとづき説明]

(委員) 4ページの⑥利用実績で、登録者数が前年比15.8%の増加で、「協力貸出」が1%の増加、その他の項目は全体的に減少しているところは、何か特別な理由があるのですか。

また、28、29年度の実績が出た中で、指定管理導入の前後を比較してどのような認識をお持ちなのかお聞かせください。

(指定管理者) 年度当初に新小学1年生に対する青梅市図書館カード登録事業を行っているのですが、昨年度は、7月に入ってから登録した可能性があります。そこで今年度は、夏休みに入る前には学校に配ろうと早めに処理をしたので、6月中に配布が終わりました。その関係でかなり中央図書館の伸びがあったのかもしれません。

(事務局) 市役所の事務屋という認識で図書館を捉えていたところですが、指定管理者制度の導入により、いろいろな企画、アイデアまたアドバイス等があり、図書館の入館者数、登録者数につきましては、増加傾向にあります。やはり、青梅市河辺駅前ということで、立地条件も非常によいので、図書館の活性化が図られていると認識しているところです。これからも継続して、更なる図書館運営をしていただければと思っております。

(委員) 以前は、河辺とうきゅうの駐車場1時間無料サービスで大変助かっていたのですが、財政を圧迫していたということで、事務局のお話を伺ってわかったところです。また、そのお金が現在学校図書館支援の方に有益に使われていることは大変よかったと思いますが、やはり年代別に、主婦層はお買い物に来ているのであまり影響はないのですが、お買い物がないような方や図書館だけに用がある方の入館者は多少なりとも減っているのでしょうか。

(指定管理者) 来館者数については、BDSゲートのところにカウンターがついているのでわかりますが、その内訳については統計をとることができないので、詳細はわかりかねます。

(委員) 学校司書の配置は、すばらしい施策と捉えているのですが、その財源が1時間無料サービスを廃止し、市民の方にも負担していただきながら実現しているということをお話してもよいですか。

(事務局) その件に関しましては、議会の方でも1時間無料サービスを廃止し、その財源を学校図書館支援の充実に充てると説明していますので、お話いただいて結構です。

また、改めて、校長会で駐車場無料化の廃止と学校司書の配置の関係性につきまして、説明させていただきたいと思います。

(委員) 選書会議は、どのような観点で図書館の本が選ばれているのか教えてください。

(指定管理者) 青梅市図書館資料収集基準および選定基準にもとづいて、毎週月曜日に選書会議を行っております。

週1回、その1週間の中で販売されたものが全部網羅されている「新刊全点案内」という冊子の中から、青梅市で必要だと思うもの、足りてないもの、もしくはシリーズものを選ぶという作業をします。

「見計らい」といって、現物を手に取って見られる資料を各門の担当が選んだり、更にリクエストが利用者からきますので、その中からも購入するものや他自治体から借りるものを選別して、それらを持ち寄り選定するという形をとっています。発注については市に選書リストとして提出し、承認を得た後で、という流れをとっております。

(委員) (1) 事業関係 ①会議・研修のところで、毎月「衛生委員会」と

いるのがありますが、どのような会議なのか教えてください。

(指定管理者) 産業医の先生と図書館側の衛生委員が図書館スタッフの精神衛生上について話し合う会議を毎月1回行っております。

(委員) 以前、この会議の場で、本が破られてしまうとか2階から投げられてしまうというトラブルがあったと聞きましたが、その後どうでしょうか。

(指定管理者) そのようなことはなくなっております。

(委員) それ以外のトラブルみたいなものはありますか。

(指定管理者) 特にありません。

(2) 第2回青梅市図書館を使った調べる学習コンクールについて

(指定管理者) [資料2にもとづき説明]

(委員) 「百科事典を使ってみよう」講座の開催と「調べ学習相談窓口の設置」は、百科事典の使い方を教えていただける講座であったり、調べ学習の窓口ということで子どもが実際に図書館に来てそこで対応していただけるような取り組みをされているというのが、非常にいいと思います。

(委員) これは全国単位でのコンクールですか。また、賞も出ていますか。

(指定管理者) 青梅市で行うのは地域コンクールになります。その地域コンクールで優秀賞をとった作品につきましては、応募点数の5%が全国レベルの作品コンクールに出展できるということになっています。全国の方では、年間9万点ぐらいの応募があり、その中から「文部科学大臣賞」、自分の地域の観光について述べた優秀な作品については「観光庁長官賞」、あるいは主催団体の賞、新聞社やNHKも関わっておりますのでそういう賞がいくつかあります。

(委員) ここが青梅予選でダブル受賞の可能性もあるということですね。

(事務局) ございます。しかし、昨年度は、残念ながらダブル受賞はありませんでした。

(委員) 今の調べる学習コンクールの応募点数の件ですが、やはり9月30日の締め切りが終わらないと何点出展できるかわからないわけですね。今年の実績はどうですか。

(指定管理者) 今年はチラシを大量に配布しましたので、その成果がでるのでは

ないかと思っております。また中央図書館3階にも、これに関する展示を開催しており、百科事典等をみているお子さんも多いので、今年が多いのではないかと期待をしております。

(事務局) 全国の入賞作品のレプリカをつくりまして、各学校の方にも配らせていただいております。それが3階にも展示されております。さすが全国レベルだなというような作品が多いです。

(委員) この応募カードを拝見すると、Webページを参考にした場合というのがありますが、これは図書館の端末を利用していけば本を参考にせずに、Webページのみ参考にしてもよいということですか。

(指定管理者) それについては特に限定しておりません。

(事務局) 公共図書館だけでなく、学校図書館も対象になります。Webサイトに関してはURLをきちんと記入していただければ、出展可能です。

(3) 青梅市図書館カードについて

(事務局) [資料3にもとづき説明]

(委員) このカードはバーコードで読み取るのではなくて、カード番号が書いてあるのですか。

(事務局) いままで通りバーコードとカード番号が記載されております。

(委員) 旧カードには有効期間が5年間と書いてありますが、新カードの有効期間も5年間でよろしいでしょうか。

(事務局) はい。

(委員) しっかりした形のカードになりますね。

(事務局) 従来のラミネート仕様のカードではコストが高くなってしまいうので、カードに直接印刷した方がコスト的にもメリットがあります。

(委員) 今持っている旧カードは、順次新カードに切替わる形になるのですか。それとも旧カード自体は有効なのですか。

(事務局) 今まで通り有効です。

(委員) 今後、新しく登録された方のみ、新カードになるということですか。

(事務局) はい。

3 その他

(1) 青梅市図書館の休館について

(事務局) [資料4にもとづき説明]

(2) 青梅市子ども読書活動推進計画策定について

(事務局) [資料5にもとづき説明]

(委員) 当委員会にあがってくる時期は、だいたいいつ頃になりますか。

(事務局) おおむね10月下旬を予定しております。

(委員) 当委員会では10月の委員会1回で意見書を集約して終わりということでよろしいでしょうか。

(事務局) はい。

(3) その他

(指定管理者) お配りしました資料のうち、「青梅市の図書館」という冊子があります。これは昨年度の事業報告書ですので、お目通しいただければと思います。

(会長) 以上で、本日予定していた案件は全て終了いたしました。委員の皆様方には、長時間にわたり御協議を賜りまして、大変ありがとうございました。

これをもちまして、平成30年度第1回図書館運営協議会を閉会いたします。本日は大変御苦労さまでした。

以上